



4日から群馬県の感染症警戒度が4になりました。学校生活もゴールデンウィーク明けから制限や配慮事項が増え、学校行事やPTA活動の実施の可否についても関係機関等と連絡を取りながら検討してきました。子どもたちが楽しみにしていた校外学習や宿泊学習は施設の利用ができなくなり、延期をすることになりました。警戒度が下がり、感染症対策を十分講じて対応できる状況になりましたら、実施できるように調整していきたいと考えています。それまでは、『コロナを防ぐ「北小」さしすせそ』を実践して、子どもたちも教職員も健康で安全な学校生活を送れるようにしていきます。

「毎月の生活目標」～各委員会で検討し、提示しています～

北小学校では、各委員会が持ち回りで月ごとの生活目標を決めています。子どもたち自身が、子ども目線で自分たちの学校生活を振り返り、課題を見出し、タイムリーな目標を設定しています。より良い学校生活を送るために、主体的で自治的に取り組んでいることが素晴らしいと思います。

5月の生活目標は、放送委員が話し合って決めました。委員長の茂木咲来さんは、「25分休みと昼休みに終了5分前の放送をしているので、すぐに遊びをやめて次の授業や掃除の準備をしてほしい」という放送委員会からの願いと、「コロナにかからないために手洗いはできているけど、ハンカチできちんと手を拭かない人がいるので、ハンカチを持参してより清潔に手洗いをしてほしい」という思いで5月の生活目標を決めたと話してくれました。北小っ子みんなが生活目標を意識して行動してくれることを期待します。

5月の生活目標

〇毎日、手洗いをしっかりして、ハンカチで手をふこう。

〇休み時間の放送を聞いて、すばやく教室にもどろう。

放送委員会

校内放送は、ゆっくり、つかえずに ～放送委員会～



はっきりした声で献立を読み上げるM・Rさん

給食時の「お昼の放送」は、放送委員会が担当しています。今日の献立や給食一口メモの紹介を全校放送し、『食育』を推進しています。12日(水)の給食一口メモは、「大豆」の紹介です。6年生のT・Mさんが、たんぱく質や食物繊維が豊富な大豆は、体に良い食品であることをアナウンスしました。

また、献立を読み上げた5年生のM・Rさんは、「みんなが聞きづらくないように、ゆっくり話し、つかえないようにすることが大切」と、気をつけているポイントを話してくれました。二人とも事前にしっかり練習してから放送をしていたところが立派でした。